

記載例

二 発熱外来の実施

記載例1:公表が行われて6か月以内に発熱外来の体制を整えることが可能で、かかりつけ患者以外の患者、小児科のどちらも受入可能

対応時期 (目的)	流行初期期間経過後(新型インフルエンザ等感染症等に係る発生等の公表が行われてから6か月以内)	流行初期期間経過後(新型インフルエンザ等感染症等に係る発生等の公表が行われてから3か月程度)の対応	流行初期期間
発熱外来 対応	発熱外来患者数 10人/日	発熱外来患者数(人/日)	(感染症等の発生等の公表後1週間以内) 発熱外来患者数(人/日)
検査対応	検査(核酸検出検査)の実施能力 10件/日		(感染症等の発生等の公表後1か月) 検査(核酸検出検査)の実施能力(件/日)

※ 普段から自院にかかっている患者(かかりつけ患者)以外の受入【可】

※ 小児患者の受入【可】

記載例 2:公表が行われて3か月以内に発熱外来の体制を整えることが可能で、かかりつけ患者以外の患者は受入可能だが、小児科の受入が不可の場合

対応時期 (目的)	流行初期期間経過後(新型インフルエンザ等感染症等に係る発生等の公表が行われてから6か月以内)	流行初期期間経過後(新型インフルエンザ等感染症等に係る発生等の公表が行われてから3か月程度)の対応	流行初期期間
発熱外来 対応	発熱外来患者数 15人/日	発熱外来患者数 10人/日	(感染症等の発生等の公表後1週間以内) 発熱外来患者数(人/日)
検査対応	検査(核酸検出検査)の実施能力 15件/日		(感染症等の発生等の公表後1か月) 検査(核酸検出検査)の実施能力(件/日)

※ 普段から自院にかかっている患者(かかりつけ患者)以外の受入【可】

※ 小児患者の受入【否】

●表に記載の数値は例です。貴院の体制に合わせてご記載ください。